

# 働き方改革の実現に向けてチームパフォーマンス向上方法 ～ NaviLight (ナビライト) を活用して エビデンスに基づいたマネジメントを!～

株式会社日本経営 組織人事コンサルティング部

兄井 利昌

医師の当直問題、同一労働同一賃金対策、有給休暇5日義務、インターバル制度等、働き方対策に向けてさまざまな取り組みが必要となってきます。この取り組みは非常に難易度が高く、ともすれば単に人件費向上につながり、それを埋め合わせるための医業収益の向上、医業収益の向上により業務量が増え、現場への負担が増加。結果として、現場からは増員の要請、また時間外労働の増加を生みます。これらの状況下において管理職のマネジメント力は今まで以上に求められるようになり、また、業務量に対する適正人員の考え方も重要となってきます。

こういった状況の中で、今いる人員のチームパフォーマンスを如何に最大化するのが強く求められます。今まで、感覚でしかチームパフォーマンスを捉えられず、何を高めればチームとしての生産性が高まるのかなどは優秀なマネージャーでしかできないものでした。しかし、今回当社(株)日本経営において、経験の少ないマネージャー、役職者でもチームパフォーマンスを向上できるよう「NaviLight(ナビライト)」を開発いたしました。

この「NaviLight(ナビライト)」は、医療・介護福祉業界を中心とした日本経営の長年のコンサルティングノウハウから仮説を立て、厳選した51問のアンケート形式でエビデンスに基づいたマネジメント支援ツールです。すでに実証研究を実施し、9つのカテゴリーの向上がチームパフォーマンスを向上させるポイントとして高い影響が見られる結果となりました。

今回は、この9つのカテゴリーをご説明するとともに、日常現場での働きかけ、マネージャー、役職者の役割・責任をご説明いたします。ぜひ、エビデンスに基づいたチームパフォーマンスの向上を図り、働き方改革で求められる生産性向上へと取り組んで頂ければ幸いです。

共催：株式会社日本経営